

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証シート

実施計画NO	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 開始期	事業 終了期	A						事業実績	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	効果(成果)
						総事業費 (千円)	補助対象 事業費 (千円)	B							
								C 国庫補助額 (千円)	D 交付対象経 費(千円)	E 起債予定額 (千円)	F その他 (千円)				
合計						2,048,493	145,218	52,520	1,840,214	-	150,526		1,519,969,200	1,386,553,211	
1	単	飲食店感染 防止対策支 援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた飲食店に支援を行うもの。 ②補助金額:飲食店1軒につき最大5万円 ③1,800店舗×5万円=90,000千円 ④日本標準産業分類の中分類761に該当する飲食店のうち上記対策を講じた店舗	R2.6	R3.3	90,000			90,000	-	-	感染症予防対策支援補助金 871件:39,434,000円	39,434,000	39,434,000	各店舗での新型コロナウイルス感染症対策が進み、市民が安心して外食等の日常生活が送れることができ、さらには地域経済の活性化が図られた。
2	単	公共施設従 事者衛生確 保事業(環境 センター)	②- ③アルコール消毒薬 1,200円×150本×1.10=198,000円 ④一次亜塩素酸ナトリウム 5,580円×21個×1.10=128,898円 ④一般廃棄物収集運搬委託業務従事者	R2.4	R3.3	327			327	-	-	アルコール消毒液 12 165個:326,700円	326,700	326,700	医療機関が優先されるなか、まとまった量が確保でき、新型コロナウイルス感染症拡大防止に寄与した。
3	単	公共施設従 事者衛生確 保事業(畜場 管理)	①- ②- ③八代市畜場内における新型コロナウイルス対策のための消毒作業に係る経費及びオゾン発生器の酸化作用により空気中やドアノブに付着しているウイルスや菌類などを分解除菌する効果が確認されているオゾン発生器の購入費 畜場内消毒経費(3回/日、0.5時間/回、1人で作業を行う。) 委託期間:令和2年5月1日から令和3年3月31日まで 1,727円/日×335日×1.1=636,400円 オゾン発生器購入費 192,000円/台×4台×1.1=844,800円 ④消毒業務委託事業者	R2.5	R3.3	1,482			1,482	-	-	消毒業務委託 634,499円 感染症死者火葬業務委託 13,367円 オゾン発生器 4台:844,800円	1,492,666	1,492,666	火葬従事者が、八代市畜場内における新型コロナウイルス感染症対策を実施したことにより、罹患は確認されず、稼働停止にはならなかった。
4	単	公共施設従 事者衛生確 保事業(収集 運搬業務)	①廃棄物の適正な収集運搬業務の継続的実施 ②感染症対策に係るマスクの購入(一般廃棄物収集運搬委託業者(8業者:94人)) ③マスク 55円/枚×94人×75日×1.10=426,525円 ④一般廃棄物収集運搬委託業務従事者	R2.6	R3.3	427			427	-	-	マスク 7,050枚:378,157円	378,157	378,157	市民の安定的な生活確保の観点から、事業の継続に必要な消耗品が確保できた。
5	単	公共施設従 事者衛生確 保事業(分別 排出指導業 務)	①一般廃棄物(資源物)の分別排出指導業務の継続的実施 ②感染症対策に係るマスク・消毒薬の購入(資源物回収立会人(618箇所:延べ人数9,684人)) ③マスク 585,882円(55円/枚×458箇所×3人×2回/月×3か月×1.10=498,762円、55円/枚×160箇所×3人×1回/月×3か月×1.10=87,120円) アルコール消毒薬 620,206円(524円/個×458箇所×2個×1.10=527,982円、524円/個×160箇所×1個×1.10=92,224円) ④資源物立会業務従事者	R2.6	R3.3	1,207			1,207	-	-	マスク 9,684枚:519,443円 手指消毒剤(ハンドスキッシュ) 6本:627,000円 ロングノズル 750本:99,000円 手指消毒液(アモノールEM) 40缶:259,200円	1,504,643	1,504,643	市民の安定的な生活確保の観点から、事業の継続に必要な消耗品が確保できた。
6	単	市感染予防 備蓄品確保 事業	①市民への新型コロナウイルス感染予防及び周知 ②マスク及び消毒液の購入 住民啓発用チラシ印刷及び折込料 ③3,380円(1箱マスク50枚入り)×600箱=2,028,000円 1,980円(消毒液1L)×289本=572,220円 3.2円(印刷1枚)×50,000枚×3回分×1.1=528,000円 2.5円(折込1枚)×50,000枚×3回分×1.1=412,500円 ④マスク及び消毒液:市備蓄、チラシ:市民へ配布	R2.4	R3.3	3,541			3,541	-	-	マスク(50枚入り)660箱:1,815,000円 手指消毒液(1L)270本:534,600円 マスク8400枚:249,480円 サージカルマスク2ケース:16,500円	2,615,580	2,615,580	備蓄品であるマスク・消毒液を新型コロナウイルス感染症対策として関係各所に配布することで、感染症対策に寄与し、今後の対策として補充分として購入し備えた。
7	単	市庁舎感染 防止事業	①- ②- ③コロナウイルス感染防止用簡易衝立を備品として購入 4,050円×100台×1.10=445,500円 ④市本庁舎、支所(5カ所)	R2.4	R2.4	446			446	-	-	コロナウイルス感染防止用簡易衝立 100台:445,500円	445,500	445,500	簡易衝立を置くことで、職員と来庁者間の飛沫拡散防止となり、新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与した。
8	単	社会福祉施 設等従事者 感染リスク低 減対策事業 (障がい者施 設)	①障がい者施設従事者等が、利用者の体温を測定する際非接触型体温計を活用することで、感染が疑われる発熱者との接触の機会を低減し、安全かつ早期の対応が可能となるよう、感染リスクの低減を目的とする事業。 ②非接触型体温計購入費 ③非接触型体温計:200台×10千円=2,000千円 ④市内の障がい者(児)施設・事業所等	R2.6	R3.3	2,000			2,000	-	-	非接触型体温計 200本:1,691,800円	1,691,800	1,691,800	市内の障害者支援施設、児童発達支援事業所等において感染リスクを低減し、新型コロナウイルス感染拡大防止に資することができた。
9	単	社会福祉施 設等従事者 感染リスク低 減対策事業 (介護施設)	①介護従事者等が、利用者からの相談を受ける際や実際に介護等をする際、ほとんどの場面において実施している体温測定において、非接触型体温計を配備することで、感染が疑われる発熱者との接触の機会を低減し、安全かつ早期の対応が可能となるよう、感染リスクの低減を目的とする事業。 ②非接触型体温計購入費 ③非接触型体温計:840台×10千円=8,400千円 ④市内の介護施設・事業所等	R2.6	R3.3	8,400			8,400	-	-	非接触型体温計 840本:7,105,560円 非接触型温度計3本:29,700円 非接触型検温器3本:19,800円 非接触式体温計1本:8,800円	7,163,860	7,163,860	市内の介護施設・事業所等における新型コロナウイルス感染症リスクを低減し、感染拡大防止に資することができた。
10	単	コミュニティー センター感染 防止事業	①- ②- ③有施設であるコミュニティーセンター20施設へのサーモグラフィ(非接触型体温計)の設置に係る経費 ④コミュニティーセンター(宮地東は除く)20施設へ設置	R2.6	R2.10	200			200	-	-	非接触型体温計 20台:154,000円	154,000	154,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設利用者に対し、より安心・安全な施設環境を提供することが出来た。
11	単	避難所感染 防止事業	①避難所を開設する際における新型コロナウイルス感染症予防 ②段ボール間仕切り、非接触型体温計、アルコール消毒剤、フェイスシールドなどの購入費用 ③避難所44箇所(段ボール間仕切りなど)17,883千円 ④避難所110箇所(非接触型体温計、アルコール消毒剤など)1,404千円 ⑤段ボール間仕切り、フェイスシールド等:1次避難所44箇所 非接触型体温計等:全避難所110箇所	R2.6	R3.3	19,287			19,287	-	-	・消毒液 110本 217,800円 ・避難所初動運営キット 43個 1,371,700円 ・非接触型体温計 110台 796,180円 ・避難所用ワンタッチ間仕切り 308個 8,402,240円 ・避難所用段ボール間仕切り 660個 2,178,000円	12,965,920	12,965,920	不特定多数が集まる避難所において、新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与し、避難所内での罹患は確認されなかった。
12	単	校内LANネッ トワーク等整 備事業(GIGA スクール)	①- ②- ③公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金の補助対象外経費分(対象校:40校) 電気設備工事費:229,196,000円 共通費:133,071,000円 消費税:36,224,700円 合計:398,491,700円(内補助対象:364,164,000円) 補助率:18,208,200円(補助対象経費の5%) 単独:398,491,700円-364,164,000円=34,327,700円 18,208,200円+34,327,700円=52,535,900円 ④市内小中特別支援学校 40校	R2.9	R3.3	52,536			52,536	-	-	・校内LANネットワーク整備工事 (小学校・中学校・支援学校): 17,233,525円	17,233,525	17,233,525	普通教室、特別支援教室にて、タブレットを使用した授業が可能となった。
13	単	児童生徒用 端末整備事 業(GIGAス クール)	①- ②- ③【端末】補助金(1台当たり上限45,000円)を超える費用分(ソフト代、送料等含む) 小学校(79,658円-45,000円)×5,459台=189,198千円 中学校(82,064円-45,000円)×2,315台=85,803千円 支援学校(97,227円-45,000円)×51台=2,664千円 【端末保守】R2.12~5年間(うち交付金対象はR2.12~R3.3の4ヶ月) 小学校 7,975千円、中学校 3,382千円、支援学校 76千円 合計 11,433千円 【WEBカメラ】補助金(1校当たり上限35,000円の1/2)を超える費用分 WEBカメラ必要台数 440台 小学校 3,300円×313台=1,033千円 補助率:682千円(補助対象経費)×1/2=341千円 単独:1,033千円-682千円(補助対象経費)=351千円 中学校 3,300円×127台=420千円 補助率:349千円(補助対象経費)×1/2=175千円 単独:420千円-349千円(補助対象経費)=71千円 ④市内小中特別支援学校 40校	R2.9	R3.3	290,036			290,036	-	-	・モバイルバッテリー×339台: 4,679,899円 ・パソコン保守委託料:7,493,310円 ・端末×7,825台:331,965,975円 ・WEBカメラ×440台:633,448円	344,772,628	344,772,628	新型コロナウイルス感染拡大防止として、児童生徒1人1台のタブレット整備が完了したことにより、遠隔授業が可能となり、密を避けることが出来た。
15	単	学校支援職 員等配置事 業(長期休業 期間)	①学校の一斉臨時休業に伴い増加した休業日における学習活動を支援する。(小学校22校、中学校14校、特別支援学校1校対象) ②長期休業期間短縮により増加した休業日に配置する学校支援職員等への報酬等 ③114人 約16日 約8,092千円 ④市内小中特別支援学校 37校	R2.7	R3.1	8,092			8,092	-	-	・学校支援職員報酬等×115人: 7,345,067円	7,345,067	6,072,098	新型コロナウイルス感染症の影響による一斉臨時休業に伴い、増加した休業日における各学校の学習活動を支援することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証シート

実施計画NO	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A						事業実績	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	効果(成果)				
						総事業費 (千円)	B				その他 (千円)								
							補助対象 事業費 (千円)	C 国庫補助額 (千円)	D 交付対象経 費(千円)	E 起債予定額 (千円)						F			
16	単	寄宿舎開設延期事業	①学校の夏季・冬季休業期間短縮に伴い、泉中学校の寄宿舎(寮)の開放日が増えることから、施設の運営に携わる会計年度任用職員人件費の増加分を補正。 ②寄宿舎職員5人の報酬(給料)・通勤手当(費用弁償)・社会保険料・雇用保険料・労災保険料に充当。 ③寄宿舎指導員 74,137円 寄宿舎舎監 116,414円 寄宿舎運転手 28,787円 寄宿舎調理員 105,665円 合計 325,003円 ④寄宿舎職員 5人	R2.7	R3.1	325						325	-	-	・寄宿舎職員報酬等×5人: 307,552円	307,552	307,552	寄宿舎を開設できたことにより、遠方から通学する生徒の負担が軽減された。	
17	単	不登校児童生徒の適応指導事業	①学校の臨時休業に伴い増加した休業日における適応指導教室の学習活動を支援する。 ②長期休業期間短縮により増加した休業日の児童生徒適応時における指導員の報酬等 ③10人×16日=692千円 ④適応指導教室指導員	R2.7	R3.1	692						692	-	-	・適応指導教室指導員報酬等×10人:675,720円	675,702	675,702	学校の臨時休業に伴い休業日(冬休み期間中に増加された勤務日分)を増加することで、児童生徒の支援を行うことが出来た。	
18	単	小規模事業者経営改善資金等利子補給事業	①新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、小規模事業者経営改善資金及び生活衛生改善貸付の利用に対し、5年間、利子を補助することで事業者の負担軽減を図る。 ②補助金(利子補給R2年度分) ③融資総額5,500千円×100件×0.31%×10/12=1,400千円 ④小規模事業者、個人事業主	R2.4	R3.3	1,400						1,400	-	-	中小企業等利子補給補助金 19件:470,458円	470,458	470,458	売上等が減少し資金繰りが大変な状況で、融資の借入を検討する際に利子の支払いが負担になり借入を断念するケースがあるが、この制度により借入のハードルを下げ、事業者の運転資金の確保に対する支援ができた。	
19	単	中小企業等金融円滑化特別資金利子補給事業	①新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、金融円滑化特別資金の利用に対し、5年間、利子を全額補助することで事業者の負担軽減を図る。 ②補助金(利子補給R2年度分) ③融資総額23,000,000千円(上限19,000千円×1210件)に対する令和2年度の利子補給分の205,000千円 ④中小企業、個人事業主	R2.4	R3.3	205,000						205,000	-	-	中小企業等利子補給補助金 1,047件:183,949,183円	183,949,183	183,949,183	売上等が減少し資金繰りが大変な状況で、融資の借入を検討する際に利子の支払いが負担になり借入を断念するケースがあるが、この制度により借入のハードルを下げ、事業者の運転資金の確保に対する支援ができた。	
20	単	農林水産業経営安定資金利子補給事業	①新型コロナウイルスの影響により経営が悪化した農林漁業者が、経営の維持・安定のために、国・県が実施する経営安定資金(新型コロナウイルス対策緊急支援資金、セーフティネット資金)を市内の農林漁業者が借り入れた場合、金利(5年間)及び保証料(全額)を補助するもの ②新型コロナウイルス対策緊急支援資金 融資上限金額 10,000千円 利子補給期間 最長5年 利子補給負担割合 県5/10、市2/10 金融機関3/10 保証料負担割合 県1/2 市1/2 積算 利子補給分(R2年度分) 10,000千円×20件×1.4%(利率)×2/10×10/12(今年の利子発生期間)=467千円 保証料補助分 10,000千円×20件×0.36%(保証料)×1/2(市の負担分)=360千円 ④農林漁業者	R2.4	R3.3	827							827	-	-	八代市農業者緊急支援資金保証料助成金 21件 186,841円 八代市農業者緊急支援資金利子補給助成金 21件 445,257円	632,098	632,098	コロナの影響で、経営が悪化した農林漁業者が行った借入(融資)に対して、21件の無利子化(利子補給)及び保証料を無料化し、事業継続への支援を実施できた。
21	単	花き需要拡大事業	①自粛要請等により花きの需要が激減する中、高齢者施設等のストレスフルな職場にフラワーアレンジメントを飾り、職場でのストレスを緩和し、健康づくりの支援を行うと同時に八代産花き需要拡大を図るもの ②フラワーアレンジメント購入費 ③5千円×720ヶ所×3回=10,800千円 郵便代(応募者への決定通知等郵送)84円×726件=61千円 ④高齢者施設等、フラワーショップ	R2.9	R3.3	10,861							10,861	-	-	フラワーアレンジメント 15件:6,060,000円	6,060,000	6,060,000	高齢者施設で働く職員のストレスを緩和するとともに、花きの需要・消費拡大が図られた。
22	単	量替え応援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている量産生産者を支援するため、市有施設100箇所の量替えに八代産量表を使用し、当該施設利用者に地元産の量の良さを実感してもらおう。 ②市有施設100箇所の量替え費用等 ③量表代:9,100円×2,000冊=18,200,000円 当該事業の受付等の事業処理のための事務従事職員人件費(会計年度任用職員) 月額:108,397円×2人×9か月=1,951,146円 期末手当:108,397円×0.9×100/100×2人=195,115円 通勤代:4,200円×9か月×2人=75,600円 社会保険料:1,110,931円×156.10/1000×2人=346,833円 雇用保険料:1,110,931円×9.00/1000×2人=19,997円 ④量表張替え事業者	R2.7	R3.4以降	20,789							20,789	-	-	公共施設量替え応援補助金 17施設:17,620,482円 事務従事職員報酬等 1人:977,205円	18,597,687	18,597,687	市有施設の量表替えを行い、需要を確保することにより、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている量産生産者を支援することができた。また、施設利用者に八代産量表の良さをPRすることもできた。
23	単	飲食店クラウドファンディング支援事業	①クラウドファンディングによる資金調達プロジェクト(店舗指定型、地域応援型)への支援を行う。 ②補助金 ③30,000千円(支援金予定額)×5%=1,500千円(チケット作成費、印刷製本費、送金手数料、広告宣伝費など) 地域応援型への参加店舗に対する補助:350店舗×10千円=3,500千円 ④八代飲食店応援隊	R2.8	R3.3	5,000							5,000	-	-	地域経済活性化事業補助金 1件:4,926,000円	4,926,000	4,926,000	新型コロナウイルス感染症の影響で経営の打撃を受けた飲食店等に対し、クラウドファンディングにより支援することで、事業者の事業継続に寄与した。
24	単	中小企業等事業継続対策特別支援金給付事業	①2月末から外出自粛の要請に伴い、売上が激減した事業者に対し事業継続・安定を図るため支援金を支給する。 ②支援金(法人:200千円・個人:100千円) ③法人 293事業所×200千円=58,600千円 個人 768事業所×100千円=76,800千円 ④宿泊業、飲食サービス業などで売上が前年同月比で50%減少している小規模事業者、個人事業者	R2.5	R3.3	135,400							135,400	-	-	中小企業等事業継続特別支援金 1,061件:135,400,000円	135,400,000	135,400,000	コロナの影響で売上が減少した事業者に対し、事業継続への支援を素早く実施できた。
25	単	生活交通路線維持継続事業	①サーーはーばんはいやは、本市と阿蘇くまもと空港をつなぐ唯一の直結型路線バスである。市民のみならず、市外からの訪問者にとっても観光、ビジネス出張などに非常に有効な移動手段となっており、本市の観光業、各種産業の発展に寄与している。しかし現在、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が激減しており、本市産業の事業継続及び経済活動を維持する必要があることから、公共交通機関として感染防止に努めた上で、本市と空港間の良好なアクセス環境を維持するため支援を行うもの。 ②指定した便に対する人件費(運転手)、燃料費、高速道路使用料等の一部に対する補助金。 ③7,424円(R2.4月実績による1便あたりの補助対象経費)×16便×152日=18,000千円 1便あたりの利用者数が6名を超えた月については、補助対象としない ④運行事業者	R2.5	R3.3	18,000							18,000	-	-	公共交通臨時運行支援補助金 15,801,000円	15,801,000	15,801,000	利用者が減少し、売上が減少する中、事業継続が可能となった。
27	単	準要保護就学援助事業(学用品等)	①新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が著しく減少し、就学が困難となった世帯に対し、申請時の収入を基に認定を行うことにより、速やかに就学に必要な費用の一部を援助し、教育の機会均等を図る。 ②就学援助金 ③新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変した世帯に対する学用品費等の就学援助費(約462人 約1,866万円) ④要保護児童生徒援助費補助金の申請時の収入が就学援助の対象となる者	R2.6	R3.3	18,654							18,654	-	-	・就学援助金×8人:541,058円	541,058	541,058	新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した世帯について、申請時の収入を基に認定を行い、速やかに就学に必要な費用の一部を援助し、教育の機会均等を図ることができた。
28	単	準要保護就学援助事業(給食費)	①新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が著しく減少し、就学が困難となった世帯に対し、申請時の収入を基に認定を行うことにより、速やかに就学に必要な費用の一部を援助し、教育の機会均等を図る。 ②給食費 ③市立小・中・支援学校に在籍する児童等の5%(約462人、約2,413万円) ④要保護児童生徒援助費補助金の申請時の収入が就学援助の対象となる者	R2.6	R3.3	24,123							24,123	-	-	・給食費×8人:397,450円	397,450	397,450	新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が著しく減少し世帯に対し、速やかに就学に必要な費用の一部を援助することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証シート

実施計画NO	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 開始期	事業 終了期	A						事業実績	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	効果(成果)
						総事業費 (千円)	補助対象 事業費 (千円)	B							
								C 国庫補助額 (千円)	D 交付対象経 費(千円)	E 起債予定額 (千円)	F その他 (千円)				
29	単	ICT高度化対応事業	①感染拡大防止を目的とした、在宅勤務の推進・WEB会議等の仮想空間の利用などの様々な社会活動におけるICT活用の取組に対応するため、本市職員の在宅勤務、WEB会議及びペーパーレス化などの執務場所を問わない環境を整備し、自治体行政のスマート化の実現のための取組を推進する。 ② a 職員へタブレットPCの配備、b セキュリティ対策ソフト導入、c WEB会議システムの導入、d 市内拠点施設への無線LAN環境の導入 ③【暗号化ソフト保守料(年間)】サーバー分42,300円×1.1=47千円、クライアント分2,210円×85台×1.1=207千円 【リモート接続保守料(初年度)】392,000円×1.1=432千円 【VPN接続保守料(年間)】サーバー分104,218円×1.1=115千円、クライアント85ライセンス分3,842円×85台×1.1=359千円 【リモート接続利用料(年間)】ライセンス150,000円×17×1.1=2,805千円 【Microsoft Teamsライセンス利用料】870円×85台×6ヶ月×1.1=488千円 【暗号化ソフトサーバーライセンス購入費】406,400円×1本×1.1=447千円 【暗号化ソフトデバイスライセンス購入費】21,600円×85台×1.1=2,020千円 【リモート接続サーバ購入費】4,370,000円×1.1=4,807千円 【VPN接続システムサーバ購入費】639,068円×1.1=703千円 【VPN接続システムクライアントライセンス85ユーザ分購入費】14,914円×85台×1.1=1,395千円 【タブレットPC等購入費】89,400円×85台×0.8×1.1=6,687千円 【無線LANルーター、集音マイクスピーカー購入費】51,000円×30台×1.1=1,683千円	R2.10	R3.3	22,195						八代市VPN同時接続システム保守委託 195,701円 暗号化及びリモート接続等支援業務委託 403,315円 VPN接続サーバ(ASA5516-X Base Firewall) 1台: 687,500円 クライアントライセンス(VPN同時接続) 100ライセンス分: 1,331,000円 タブレットPC購入費 85台: 8,689,230円 暗号化ソフト購入費 3,923,590円 リモート接続サーバ購入費 4,214,650円 リモート接続ライセンス使用料 17ライセンス: 1,064,030円 WEB会議ライセンス使用料 798,490円	21,307,506	21,307,506	オンライン会議やリモートワークなど、コロナ禍における新しい働き方を可能とする職場環境を整えることができた。
30	単	医療従事者感染リスク低減対策事業(夜間急患センター)	①本市の委託業務である「夜間急患センター業務」の診療体制を維持するため、委託先である八代市医師会が感染症防止対策として整備する消耗品費・備品等の購入費用に係る経費として委託料を増額するもの ②感染防護具や衛生材料等感染防止に係る経費(委託料) ③サージカルマスク2,000円×60箱×1.1=132,000円 N95マスク22,000円×20箱×1.1=484,000円 ガウン(フルラックNo40)62,500円×20箱×1.1=1,375,000円 ガウン(親指フック)2,000円×150箱×1.1=330,000円 フェイスガード1500円×18箱×1.1=29,700円 フェイスガードシート88,000円×6箱×1.1=580,800円 無気孔くもり止めゴーグル1,000円×12個×1.1=13,200円 ニトリルグローブ2,000円×50箱×1.1=110,000円 ハンドジェル1,000円×42本×1.1=46,200円 エヴァホ10,000円×6本×1.1=66,000円 除菌クロス1,000円×42本×1.1=46,200円 ファイルボックス355円×1箱×1.1=390円 パナールスクリーン174,700円×3台×1.1=576,510円 空気清浄機500,000円×2台×1.1=1,100,000円 感染症対策用診察スタンド50,000円×2台×1.1=110,000円 合計5,000千円(5,000千円×1医療機関) ④医療機関(八代市医師会)	R2.6	R3.3	5,000			5,000			夜間急患診療業務委託【増額分】1医療機関: 3,476,125円	3,476,125	3,476,125	夜間急患センターの受診環境の整備を整えることにより、医療従事者、受診者の安心安全が確保された。
31	単	衛生確保事業(収集・分別業務及び市業務)	①廃棄物収集・分別作業の継続的実施 ②作業員の手洗いや手袋等の用具の除菌用水栓へ電解水生成装置を設置 ③電解水生成装置設置: 585千円 電解水生成装置: 531千円×1基×1.10=584,100円 ④環境センター	R2.6	R2.10	585			585		電解水生成装置 1式: 582,450円	582,450	582,450	市民の安定的な生活確保の観点から、事業の継続に必要な備品(電解水生成装置)が確保できた。	
32	単	衛生確保事業(受付業務)	①廃棄物受入(直接搬入)の受付業務について安心・安全の確保 ②感染症対策としてドライブルー方式での受付を導入 ③受付棟の増築、通信設備増設 増築面積: 1.6m ² 、インターホン設置: 1箇所 工事費 5,000千円 ④環境センター	R2.6	R2.12	5,000			5,000		八代市環境センター受付棟・計量棟改造工事 4,950,000円	4,950,000	4,950,000	受付環境の整備を整えることにより、受付従事者、搬入者の安心安全が確保された。	
33	単	コミュニティセンター感染防止事業	①新型コロナウイルス感染症防止対策としてアルコール消毒を行うことで、利用者に安全な施設環境を提供することができる。 ②市有施設であるコミュニティセンター21施設で使用する消毒液購入に関する経費 ③1,100円×100本=11万円 ④コミュニティセンター21施設	R2.9	R3.3	110			110		アルコール消毒液283本: 155,650円	155,650	155,650	新型コロナウイルス感染拡大防止として、施設利用者により安心・安全な施設環境を提供することが出来た。	
34	単	新型コロナウイルス感染症対策事業(文化センター)	①新型コロナウイルス感染症感染予防対策として施設利用時及び利用後の消毒作業を実施し、利用者の感染防止を図る。 ②消毒液を購入する経費。 ③500円×254本×1.1=139,700円 ④文化センター	R2.9	R3.3	140			140		手指消毒剤18本: 29,700円 噴霧消毒用次亜塩素酸水15箱: 99,000円 アルコール除菌タオル7本: 4,753円 アルコール除菌タオル詰替4セット: 6,368円	139,821	139,821	新型コロナウイルス感染拡大防止として、利用時と利用後の消毒作業に使用することで、利用者の感染防止を図ることができた。	
35	単	スクールバスコロナ感染防止事業(特別支援学校)	①新型コロナウイルス感染症対策として、スクールバスの消毒等を行う。 ②スクールバスの消毒等を行うための備品等購入 消毒液 18,000円×5個×1.1=99,000円 消毒液用ボトル 500円×5個×1.1=2,750円 オゾン発生器 100,000円×5台=500,000円 49,000円+99,000円+2,750円+500,000円=650,750円 ④特別支援学校スクールバス	R2.6	R3.3	651			651		・アルコール消毒液×3缶: 42,900円 ・アルコール除菌剤×4本: 24,200円 ・非接触型温度計×5個: 13,750円 ・プラ手袋、エプロン×一式: 25,960円 ・マグネットシート×4枚: 26,400円 ・オゾン発生器×7台: 263,010円	396,220	396,220	新型コロナウイルス感染拡大防止策として、オゾン発生器の設置やこまめな消毒により、感染者を出さずことなく運行することができた。	
36	補	学校保健特別対策事業(感染症対策のためのマスク等購入支援事業に限る)	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①新型コロナウイルス感染症防止のため、市立学校に対し消毒液等を配付し、基本的な感染症対策を講じる。 ②衛生用品等の購入費 ③消毒液400箱×12,100円=4,840,000円、非接触型体温計94個×9,900円=930,600円、不織布マスク200箱×1,078円=215,600円、フェイスシールド2,000枚×550円=1,100,000円、石鹸液45個×6,050円=272,250円、学校体育施設用エタノール400個×1,463円=585,200円、スクールバス用非接触型体温計15個×9,800円=147,000円、スクールバス用エタノール15箱×19,800円=297,000円、消毒液ボトル15箱×550円=8,250円 合計8,395,900円 【補助対象経費】 児童生徒数9,305人×340円=3,163,000円 【補助金額】 3,163,000円×1/2=1,581,000円 ④小学校、中学校、支援学校(全39校)	R2.6	R3.3	8,396	3,163	1,581	1,582			・消毒用エタノール×2,8750: 2,037,035円 ・次亜塩素酸水×324箱: 2,251,205円 ・非接触型体温計×63個: 579,240円 ・マスク×11,500枚: 342,760円 ・フェイスシールド×2,050枚: 202,950円 ・石鹸液×86本: 342,925円 ・アルコール用ポンプ×20個: 16,060円 ・アルコール消毒液ほか: 628,381円 (うち補助対象外 3,238,556円) ・アルミニウムテナー×一式: 11,000円 (うち補助対象外 11,000円)	6,411,556	1,581,000	消毒液や石けん液等をまとめて購入し、学校へ配付したことで、児童生徒等の新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与した。
37	単	新型コロナウイルス感染症対策事業(博物館)	①当館は文化庁認定の公開承認施設として、館内の温湿度等を適正に管理してきたが、現在、エントランス入口を開けるなど、これまで以上に外気を取り込むこととなるため、博物館として資料の保存または公開に適した空気環境を整える対策を講じることを目的に事業を実施する。対策することで、当館への来館者並びに館内スタッフに対する新型コロナウイルス感染症防止につながる。 ②空気清浄機(高度清浄加湿装置)及び除湿器 ③<空気清浄機> 496,000円(税込)×5台=2,480,000円 <除湿器> (80,000円×10台)+(18,000円×4台)×1.1=959,200円 ④博物館(来館者並びに館内スタッフ)	R2.7	R3.3	3,440			3,440			・空気清浄機×5台: 2,479,999円 ・除湿機×14台: 764,940円 ・受付カウンター仕切り板×1式: 40,000円	3,284,939	3,216,549	博物館内の空気環境を適切に保つことができ、さらに、来館者や館内スタッフに対する新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与した。
38	補	文化芸術振興費補助金	(文化施設の感染症防止対策事業) ①博物館の再開に際し、消毒液等を配付し、基本的な感染症対策を講じる。 ②衛生面の予防対策に必要な消耗品及び備品 ③消毒液 6,515円×5本×1.1=35,832円 ペーパータオル 512円×40箱×1.1=22,528円 非接触型体温計 8,778円×2台=17,556円 マスク 2,434円×7箱×1.1=18,742円 ハイター 519円×1本×1.1=570円 ウェットティッシュ 1,500円×2パック×1.1=3,300円 除菌スプレー 317円×1本×1.1=348円 受付用間仕切り 40,000円×1式=40,000円 合計 139千円(内地方負担分69千円) ④博物館(来館者並びに館内スタッフ)	R2.5	R2.11	139	139	69	70			・非接触型体温計×2個: 17,556円 ・手指消毒剤ほか: 79,397円	96,953	96,953	新型コロナウイルス感染拡大防止策として、来館者用手指消毒等の徹底や衛生管理を徹底することができ、来館者や館内スタッフが安心・安全な環境の中で館の運営が行えた。また、開館することで社会教育の場の確保ができ、地域経済の振興にも寄与することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証シート

実施計画NO	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A					事業実績		効果(成果)	
						総事業費 (千円)	補助対象 事業費 (千円)	B				総事業費 (円)		交付金充当額 (円)
								C	D	E	F			
						国庫補助額 (千円)	交付対象経 費(千円)	起債予定額 (千円)	その他 (千円)					
39	補	学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る)	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①新型コロナウイルス感染症防止のため、小・中・支援学校に対し消毒液等を配付し、基本的な感染症対策を講じる。 ②感染症対策に必要な消耗品・備品等 ③学校保健特別対策補助金(1校当たりの上限の1/2補助) コロナ感染症対策の消耗品、備品等の購入 小学校 24校 29,500,000円(内地方負担分 14,750,000円) 中学校 15校 18,000,000円(内地方負担分 9,000,000円) 支援学校 1校 4,000,000円(内地方負担分 2,000,000円) 14,750,000円+9,000,000円+2,000,000円=25,750,000円 ④小学校、中学校、支援学校(全40校)	R2.9	R3.3	51,500	51,500	25,750	25,750	-	-	50,951,163	25,602,163	新型コロナウイルス感染拡大防止策として、学校において必要な物品を校長権限で購入することにより、感染拡大を防ぐことができた。
40	単	新型コロナウイルス感染症対策事業(図書館管理運営)	①八代市立図書館は、一日1,600冊の貸出・返却があり、新型コロナウイルス感染防止策として、書籍消毒器を設置することで、市民が安心して書籍を見て借りることができる。 ②ブックシャワー(図書除菌機) ③750,000円×2台=1,500,000円(税込) ※熊本県総合交付金活用事業(交付額:1,500千円×1/2=750千円) ④図書館(利用者並びにスタッフ)	R2.10	R2.12	1,500		750			750	1,500,000	750,000	ブックシャワーを設置したことで、利用者及びスタッフの安心・安全な環境が構築できた。
41	単	2歳児歯科健診委託事業	①新型コロナウイルス感染症の感染防止(3密防止)のため中止した2歳児歯科健診の集団健診を受診できない子どもに対し、歯科健診とフッ化物歯面塗布の受診券を配布し、歯科医療機関を個別受診することにより、乳歯のむし歯予防と歯質の強化を図る。 ②個別受診を実施する歯科医療機関への委託料等 ③2歳児歯科健診委託料 865人×0.75(受診率)×2,500円=1,621,875円 対象世帯への受診券郵送 865人×84円=72,660円 ④2歳児の子どもを持つ家庭	R2.9	R3.3	1,695		1,695				1,970,500	1,970,500	事業を継続でき、子ども達のむし歯の早期発見・早期治療・予防に繋がった。
42	単	感染防止対策周知事業	①感染症防止対策や支援策に特化したラジオ放送(毎週月～金の1日2回60秒間)を行い、市の取組の一層の周知を図り、市民の新型コロナウイルス感染予防及び周知を目的とする事業。 ②ラジオ放送料(60秒間=5,000円) ③66日×2回×5,000円×1.1=726,000円 ④市内のラジオ放送事業所	R2.7	R2.12	726		726				726,000	726,000	エフエムやつしろは、市民に浸透している市内唯一のコミュニティFMであり、インターネット環境のない市民に対し周知を図ることができた。また、広報やつしろや市ホームページ、公式SNSなどとあわせてラジオでお知らせすることで、多様化する情報入手方法に対応し、市民へ広く周知を図ることができた。
43	補	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染防止のため放課後児童クラブの利用自粛要請期間において利用自粛した児童一人当たり日額500円を上限に還付する費用を放課後児童クラブへ補助する。 ②補助金 ③4/15から5/20(利用自粛要請期間)における延べ利用自粛児童数27,463人分 5,673千円 ④放課後児童クラブ36クラブ	R2.4	R3.3	5,673	5,673	1,891	1,891		1,891	4,017,050	1,339,018	市内32ヶ所児童クラブへ利用料減免補助金を支払うことができ、利用料の補てんを実施することで、事業継続を可能とした。
44	補	子ども・子育て支援交付金	①小学校等の臨時休業にあたり、放課後児童クラブを午前中から臨時開所するための経費及び人件費について支援するもの。 ②小学校臨時休業期間における開設委託料 ③11,000円×29日×34クラブ×1/2=5,423,000円 21,000円×29日×34クラブ×1/2=10,353,000円 36,000円×36日×2クラブ×1/2=1,296,000円 26,000円×36日×2クラブ×1/2=936,000円 6,000円×29日×34クラブ×1/2=3,132,000円 6000円×29日×21クラブ×1/2=1,827,000円 合計 22,967,000円 ④放課後児童クラブ36クラブ	R2.4	R3.3	22,967	22,967	7,655	7,657		7,655	7,604,788	2,534,930	新型コロナウイルス感染症対策に伴う、小学校の臨時休業等により、放課後児童クラブを午前中から臨時開所するためにかかる費用を補助することで、小学校臨時休業等にも児童クラブを開所することが可能となった。
45	単	新型コロナウイルス感染症対策事業(調理員熱中症対策)	①新型コロナウイルスの影響で夏季休暇が短縮され、授業が実施される期間、安定した給食提供を継続するため、調理員の熱中症対策を行う。 ②調理員の熱中症対策のための備品 ③スポットクーラー 77,000円×20台×1.1=1,694,000円 ④市内学校給食調理場(全6ヶ所)	R2.7	R2.7	1,694		1,694				1,540,000	1,540,000	スポットクーラー設置により、調理員の熱中症対策をすることができた。
46	単	スクール・サポート・スタッフ配置事業	①新型コロナウイルス感染症対策の強化を図ることで純増する教師等の業務をサポートするため、スクール・サポート・スタッフを各学校に配置し、教師が子供の学びの保障に注力できるようにする。 (小学校18人、中学校9人、支援学校1人) ②スクール・サポート・スタッフへの報酬、期末手当、共済費、費用弁償(通勤手当) ③小学校:報酬5,420円×18人×145日=14,147千円 期末手当1,054千円、共済費2,774千円、 通勤手当549千円、小計18,524千円 中学校:報酬5,420円×9人×145日=7,074千円 期末手当527千円、共済費1,388千円、 通勤手当275千円、小計9,264千円 支援学校:報酬5,420円×1人×145日=786千円 期末手当59千円、共済費155千円、 通勤手当31千円、小計1,031千円 合計28,819千円 ④小学校、中学校、支援学校(全40校)	R2.8	R3.3	28,819		28,819				23,341,440	23,341,440	学校における新型コロナウイルス感染症防止対策の強化を図るための業務をサポートすることにより、教師が子供の学びの保障に注力できるよう支援することができた。
47	単	新型コロナウイルス感染症対策事業(小学校管理運営)	①新型コロナウイルスの感染が確認された小学校の消毒を行う。 ②教室等の消毒委託 ③教室消毒:5,800㎡×50円/㎡=290,000円 感染症対策経費:50,000円 (290,000円+50,000円)×1.1=374,000円 ④小学校	R2.7	R2.7	374		374				1,089,220	1,089,220	新型コロナウイルス感染者が出た学校の消毒を迅速に行い、学校再開を行うことができた。
48	単	生活交通路線維持継続事業(タクシー補助)	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、タクシー利用が低迷し、事業収入が落ち込んでいる事業者に対し、タクシーチケット割引補助を実施することにより、タクシーの利用促進と事業の継続を目的とする。 ②割引チケット及び販売に係る経費の一部に対する補助金。 (5千円のチケットを3千円で販売) ③・チケット補助((5千円-3千円)×2,500セット=5,000千円 ・販売事務経費 上限1,000千円(チケット印刷代5,000セット×82円×1.1=451,000円、チラシ印刷代10,000枚×11.6円×1.1=127,600円、振込手数料880円×8社×6か月=42,240円、人件費108,397円×8か月×0.5=433,588円、小計1,054,428円) ④タクシー運行事業者(タクシー協会八代支部)	R2.7	R2.12	6,000		6,000				5,698,144	5,698,144	タクシーチケット割引補助を実施することにより、タクシーの利用促進と事業の継続を支援することが出来た。
50	単	旅館等量販張替え事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている量販生産者を支援するため、市内の旅館やホテルなどの量販生産者に八代産量販表を使用し、新しい量販表を渡していただき、八代市産の量販の良さを実感してもらおう。 ②市内約50施設の量販表費用 ③量販表代:4/5以内(上限:12,000円) 12,000円×2,583量=30,996,000円 ④旅館業を営んでいるもの	R2.7	R3.3	30,996		30,996				11,104,000	11,104,000	18施設の旅館・ホテルの張替えを行い、需要を確保することにより、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている量販生産者を支援することができた。また、宿泊された観光客に八代産量販の良さをPRすることもできた。
51	単	量販張替え促進事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている量販生産者を支援するため、既存の量販張替え事業を拡充し、地元の人に国内随一の生産地の量販の良さを再認識してもらい、将来の需要に繋げる。 ②八代市民が、八代市産の量販により量販表を行った量販表費用 ③量販表代1量あたり:1,000円(1世帯上限:16千円) 1,000円×7,760量=7,760,000円 ④八代市産の量販で量販表を実施した者	R2.7	R3.3	7,760		7,760				6,890,000	6,890,000	量販表に助成することにより、需要を確保することができ、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている量販生産者を支援することができた。また、八代産量販の良さをPRすることもできた。
52	単	令和2年7月豪雨対策量販張替え事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている量販生産者を支援するため、令和2年7月豪雨により被災した地元の人に国内随一の生産地の量販の良さを再認識してもらい、将来の需要に繋げる。 ②令和2年7月豪雨により被災した八代市民が、八代市産の量販により量販表を行った量販表費用 ③量販表代:9/10以内(上限:13,000円) 13,000円×16量×360件=74,880,000円 ※熊本県総合交付金活用事業(交付額:13千円×1/2×8量×360件=18,720千円) ④令和2年7月豪雨で被災し、八代市産の量販で量販表を実施した者	R2.7	R3.4以降	74,880		56,160	18,720			28,010,000	21,014,000	令和2年7月豪雨により被災した八代市民に助成することにより、需要を確保することができ、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている量販生産者を支援することができた。また、被災した市民の復興に寄与することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証シート

実施計画NO	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A					事業実績	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	効果(成果)
						総事業費 (千円)	B							
							補助対象 事業費 (千円)	C 国庫補助額 (千円)	D 交付対象経 費(千円)	E 起債予定額 (千円)				
53	単	農林漁業者 事業継続対 策特別支援 金事業	①新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛の要請などに伴い、売上が激減した農林漁業者に対し事業継続・安定を図るため支援金を支給する。 ②支援金(法人:200千円・個人:100千円) ③法人 10経営体×200千円=2,000千円 個人 560経営体×100千円=56,000千円 ④売上が前年同月比で50%減少している農林漁業者	R2.7	R3.3	58,000					八代市農林漁業者事業継続対策 特別支援金 個人538件 法人24件 :58,600,000円	58,600,000	58,600,000	新型コロナウイルス感染所の影響で売上が減少した農林漁業者に対し、支援金を支給することで、事業継続への支援を実施できた。
54	単	新型コロナウ イルス感染症 消毒費補助 事業	①コロナウイルス感染症に罹患した患者が発生、または訪問のあった事業所が、保健所の要請により、消毒、清掃などを実施した場合に要する経費に対して補助を行う ②予算額:1,000千円(補助上限額:100千円/施設)補助率10/10 ③10施設×100千円=1,000千円 ④保健所の要請により、消毒、清掃などを実施した事業所	R2.6	R3.3	1,000		1,000			中小企業等消毒費補助金 6社:502,294円	502,294	502,294	当該補助金により、市内事業者で新型コロナウイルス感染者が発生した際に、消毒・清掃作業ができ、迅速に事業経営の再スタートが可能となった。
55	単	保育所等従 事者応援給 付金事業	①新型コロナウイルス感染症の感染リスクと不安を抱えながらも感染防止に留意しながら継続して子どもたちを預かっている保育施設や放課後児童クラブの従事者に対し、感謝と慰労の意を表すため、応援給付金を交付する。 ②応援給付金:1人当たり20千円 ③私立保育所 20千円×1,600人=32,000千円 放課後児童クラブ 20千円×100人=2,000千円 ④私立保育所従事者、放課後児童クラブ従事者	R2.5	R3.3	34,000		34,000			保育所1,230人:24,600,000円 放課後児童クラブ63人:1,260,000 円	25,860,000	25,860,000	新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら、継続して子どもたちを預かっている保育施設や放課後児童クラブの従事者に対し、応援給付金を交付することができた。
56	単	保育所等教 材費等助成 金交付事業	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより収入が減少する等した保育所等を利用する世帯の教材費等を助成することで、安心して保育園等の利用を継続できるよう支援するとともに、子育て世帯の経済的な負担軽減を図る。 ②令和2年度中に保育所・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園・認可外保育施設等を利用する際に支払うべき教材費等 ③子ども1人当たり年間15,000円×728人=10,920,000円 ④本市に住所を有する(有した)保護者であって、次のいずれかに該当する者 ・感染症の影響で収入が減少し、令和2年の世帯の収入状況が生活保護法に規定する要保護者に準ずる程度に困難していると認められる世帯 ・現に生活保護法に規定する要保護者に準ずる程度に困難していると認められる世帯	R2.7	R3.3	10,920		10,920			対象者43人:431,189円	431,189	431,189	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより収入が減少した世帯に教材費等を助成することで、安心して保育園等の利用を継続でき、子育て世帯の経済的な負担を軽減することが出来た。
57	単	幼稚園教材 費助成	①新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が著しく減少し、就園が困難となった世帯に対し、申請時の収入を基に認定を行い、就園に関する費用を援助することにより、保護者の経済的負担を軽減する。 ②幼稚園を利用する際に支払う教材費等 ③公立幼稚園を利用する園児のうち、6%が対象となると見込み、一人につき15,000円を上限に支給する。(138人×6%×15,000円=124,200円) ④申請時の収入状況が生活保護法に規定する要保護者に準ずる程度に困難していると認める者	R2.6	R3.3	125		125				0	0	
58	単	新型コロナウ イルス感染症 対策事業(観 光復興キ ャンペーン 事業)	①新型コロナウイルス感染症による観光需要の低迷等で激減している観光客を呼び込むため、宿泊補助に加え、観光施設等を盛り上げるためのキャンペーンの実施に要する経費を補正するもの。 ②宿泊者に限定し、宿泊補助に加え観光施設、物産館、温泉施設、飲食店等への消費喚起を促すキャンペーンの実施。 ③宿泊補助 6千円×5,000人=30,000千円 周遊補助 2千円×10,000人=20,000千円 キャンペーン特典 1,500円×200人=300千円 2,500円×400人=1,000千円 自主事業補助 10団体×500千円=5,000千円 PR・販促品・事務等委託 商品券印刷費25円×10,000枚=250,000円 販促のぼり1,236円×200本=247,200円 PR・広告宣伝費1,752,480円 郵送料82円×200通=16,400円 コピー費・消耗品費112,800円 手数料943円×8h×2人×(8か月×30日)= 3,621,120円 計 6,000千円 ④DMOやつしろ、市内宿泊施設、市内飲食店、お土産店等	R2.6	R3.2	62,300		62,300			観光復興キャンペーン業務委託: 19,103,000円 観光復興キャンペーン補助金 5団体: 2,248,000円	21,351,000	12,441,000	新型コロナウイルス感染症の流行収束期に事業を実施できたことで、減少していた宿泊客数の増加に寄与した。 【宿泊補助事業】 参加施設 31軒 補助泊数 1,308泊 【周遊クーポン事業】 参加施設 114軒 クーポン券使用枚数 5,529枚 【宿泊特典事業】 アンケート回答数 1,210回答 【自主PR事業補助】 補助団体数 5団体 2,248千円
59	単	新型コロナウ イルス感染症 対策事業(文 化センター)	①新型コロナウイルス感染症の影響により、日頃の市民の文化活動や発表の場が制限されている状況が続いている。今後段階的な文化活動再開に向けて、三密を避けることが困難なホール公演をはじめ各種文化芸術活動の成果発表の場として、市内の各種団体、グループに呼び掛けてその成果を映像として記録したものを、ケーブルテレビや市公式YouTube等で配信することで、市民が文化芸術と触れ合う機会を提供し、本市の文化振興・発展に繋げる。 ②無観客で行う文化芸術活動の発表の様子について撮影、映像制作、WEBやケーブルテレビでの配信等にかかる経費 ③撮影@8,000円+編集@1,150円+YouTube用再編集@1,100円+著作権管理代行@1,700円+ 音声技術・納品データ@1,300円+番組使用料@31,300円+諸経費@950円+消費税@4,545円=50千円 50千円×32本=1,600千円 ④文化芸術活動を行う市民及び団体、映像制作配信事業者	R2.8	R3.3	1,600		1,600			文化芸術活動の映像制作及び配 信業務委託:1,597,200円	1,597,200	1,597,200	感染症対策強化の環境下でありながら、継続的な文化活動の実施を行うことができた。
60	単	新型コロナウ イルス感染症 対策事業(商 店街活 性化イ ベント補 助)	①新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、経済の活性化を図るために賑わいを創出する新規イベントへの補助を行う ②補助金(はしご酒まつり・本町De食とフリマと音楽祭、本町deひな祭りwith竹あかり)補助率10/10 補助金(フチ感動商店街、ファンづくり、軽トラ市、ファンタジーロード、城下町やつしろお祭り、情報発信事業、グリーンプロジェクト)補助率4/5 消耗品費(非接触型検温器) ③はしご酒まつり補助金 5,000千円(10/10) 本町De食とフリマと音楽祭補助金 1,500千円(10/10) シンボルロードDe新年会 1,875千円×4/5=1,500千円 本町Deお祭りwith竹あかり 1,875千円×4/5=1,500千円 フチ感動商店街 500千円×4/5=400千円 ファンづくり 2,250千円×4/5=1,800千円 軽トラ市 500千円×4/5=400千円 ファンタジーロード 1,800千円×4/5=1,440千円 城下町やつしろお祭り 1,300千円×4/5=1,040千円 情報発信事業 300千円×1/2=150千円 グリーンプロジェクト 208千円×4/5=166千円 非接触型検温計購入費 10千円×10本=100千円 本町deひな祭りwith竹あかり補助金 1,500千円(10/10) ④補助金:商店街振興会などイベント主催者及び商店街新規出店者 検温計:桜十字ホールやつしろなどの市有商工施設	R2.4	R3.3	16,496		16,496			非接触型体温計 14台:97,020円 商店街活性化イベント補助金 3件:2,482,606円	2,579,626	2,579,626	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、イベントの中止または変更を余儀なくされたものの、来場者にはアルコール消毒等の感染予防策を行いながら、商店街の賑わい創出に寄与できた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証シート

実施計画NO	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A					事業実績	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	効果(成果)				
						総事業費 (千円)	B											
							補助対象 事業費 (千円)	C 国庫補助額 (千円)	D 交付対象経 費(千円)	E 起債予定額 (千円)					F その他 (千円)			
61	単	新型コロナウイルス感染症対策事業(商店街活性化商品券補助)	①新型コロナウイルス感染症の影響による景気回復を目的として商店街が実施する事業の事務経費と商品券のプレミアム分(20%)に 対して補助率(4/5)上限額10,000千円の補助を行う ②商品券プレミアム分と事務経費の4/5 ③【まちなか活性化協議会:12,600千円×4/5=10,080千円※上 限:10,000千円】 商品券発行冊数:10,000冊(1冊5,000円×プレミアム率20%= 6,000円分) 商品券プレミアム分:10,000冊×1千円=10,000千円 チラシ印刷代:70千円、新聞折込代:114千円、ポスター印刷代: 16千円 換金・販売委託料:2,400千円(4事務所) 【八代市商工会 7,700千円×4/5=6,160千円】 商品券発行冊数:3,000冊(1冊10,000円×プレミアム率20%= 12,000円分) 商品券プレミアム分:3,000冊×2千円=6,000千円 商品券印刷代:880千円、チラシ製作・印刷代:220千円、新聞折 込代:110千円 ポスター製作費:88千円、盗難保険料:11千円、搬入手数料: 150千円 消耗品費・通信費:241千円 ④まちなか活性化協議会、八代市商工会	R2.9	R3.3	16,160					16,160	-	-	プレミアム付商品券事業補助金 2件:15,594,000円	15,594,000	15,594,000	売上が大きい年末年始の時期に、商店街などの 小規模店舗などの売上に貢献し、地域の活 性化につながった。	
62	補	公立学校情報機器整備費補助金	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①1人1台のパソコン導入に伴うマニュアル整備、サポ ート業務を行うもの。 ②GIGAスクールサポーター業務委託 ③1/2補助 小学校(4人) 7,617千円-3,808千円(補助金)=3,809 千円 中学校(2人) 3,809千円-1,904千円(補助金)=1,905 千円 ④小学校・中学校(39校)	R2.10	R3.3	11,426	11,426	5,712	5,714	-	-	・GIGAスクールサポーター業務委 託料: 9,900,000	9,900,000	4,950,000			児童生徒1人1台タブレット整備に対し、導入作 業やマニュアル作成などを整備することがで きた。また、その後のトラブル対応に対しても迅速 に対応することができた。	
63	補	学校臨時休業対策費補助金	(学校給食費返還等事業) ①臨時休業に伴って学校給食が中止となり、パン・委託 炊飯・牛乳等の納入業者の事業継続に深刻な影響を与 えているため、国の通知に基づき、供給できなかったパ ン・委託炊飯・牛乳・その他食材等に係る経費について 補助するもの。 ②学校給食中止に伴う経費 ③パン38,229個×25.56円=977,125円 委託炊飯74,397食×24.26円=1,804,126円 牛乳138,151本×18.75円=2,590,327円 食肉類(80.9kg)52,959円、こんにやく類(23.6kg)8,510 円 蒲鉾類(22.4kg)27,040円、野菜・果物類220,298円 ④公益財団法人熊本県学校給食会	R2.4	R2.9	5,950	5,950	4,462	1,488	-	-	・学校給食中止に伴う補償金: 5,657,592	5,657,592	1,414,592			給食中止となったときの食材費を補助すること で、納入業者の負担が軽減された。	
64	単	新型コロナウイルス感染症対策事業(アドバイザー育成・派遣事業)	①新型コロナウイルス感染症の予防対策アドバイザーの 育成、事業所へのアドバイザーの派遣による、感染予防 対策等のアドバイスや補助制度等の説明、感染予防対 策を講じた店舗等へののぼり及びステッカーの交付等の 業務を委託する。 ②感染予防対策アドバイザー育成・派遣業務委託費 ③アドバイザー育成講座の開催(3回)、アドバイザー の訪問1900回(20名(2名×10組)×6件×8日×4か 月)、のぼり・ステッカー各1600件分 ・アドバイザー育成講座費用(会場使用料、講師謝礼、資 料代)116,500円 ・アドバイザー人件費(訪問時保険料含む)5,162,000円 ・アドバイザー訪問経費(燃料代、消耗品代)1,235,600円 ・のぼり、ステッカーデザイン及び印刷代2,563,000円 ・のぼり等送料(事業者が不在の場合の対応)1,400,000 円 ・事業周知資料、チラシ印刷代5,240,000円 ・事業打合せ会場費16,500円 ・事務管理費(報告書作成費含む)266,400円 ・消費税相当額1,600,000円 ※熊本県総合交付金活用事業 (交付額:8,800千円) ④八代商工会議所	R2.10	R3.3	17,600		8,800				8,800	感染予防対策アドバイザー育成・ 派遣業務委託:17,600,000円	17,600,000	10,927,000			事業所を直接訪問したりチラシを配布するな ど、新型コロナウイルス感染症に関する正しい 情報や知識を周知し、新型コロナウイルス感染 拡大防止に寄与した。
65	単	新型コロナウイルス感染症対策事業(予防対策支援・拡充)	①新型コロナウイルス感染症の予防対策を新たに講じた 事業所に対し必要な経費の支援を行うもの。 ②補助金額:事業所1軒につき費用の3/4(上限10万円) を補助 対象経費(換気扇等改修工事、消毒液等の消耗品、備 品等) ③2,700店舗×10万円=270,000千円 ※熊本県総合交付金活用事業 (交付額:90,000千円) ④新たに感染予防対策を講じた店舗	R2.10	R3.3	270,000		180,000				90,000	感染予防対策支援補助金(拡 充) 1,482件:118,134,000円	118,134,000	93,557,000			新型コロナウイルス感染症の予防対策を新た に講じた事業所に対し、必要な経費の支援した ことにより、新型コロナウイルス感染拡大防止 に寄与した。
66	単	公共施設等への花き展示	①新型コロナウイルス感染拡大の影響により花きの需要 が激減する中、日常生活での花の活用定着と花の癒し 効果による、市民のストレスを軽減のため、公共施設等 で継続的に花を装飾展示するもの。 ②花装飾代負担金 ③1口120千円 ※熊本県総合交付金活用事業 (交付額:60千円) ④熊本県花き協会	R2.10	R2.12	120		60				60	花きの活用拡大事業負担金 120,000円	120,000	60,000			公共施設における花き装飾展示により、新たな 花きの活用機会の創出、需要拡大の契機と なった。
67	単	八代市修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助事業	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、 修学旅行を中止、延期等したことにより発生した費用を 支援する。 ②修学旅行を中止、延期等したことにより発生した経費 ③修学旅行費@63千円×当日キャンセル料50%×210 人=6,615千円 ※熊本県総合交付金活用事業 (交付額:@15千円×210人=3,150千円) ④児童生徒の保護者	R3.1	R3.3	6,615		3,465				3,150	・修学旅行キャンセル補助金×4 校:388,318	388,318	195,318			新型コロナウイルスの影響で修学旅行をキャン セルした学校の、生徒保護者の負担を軽減す ることができた。
68	単	八代市飲食店等緊急特別支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店等 では、年末年始の売上が大きく減少するなど未曾有の影 響を受けている。そこで、日常より店舗内で飲食の提供 を行っている飲食店等の事業主に対し、事業の継続・安 定を図るため支援するもの。 ②支援金:法人・個人事業主一律300千円 ③300千円×600事業所=180,000千円 ④以下の項目すべてを満たす中小企業、小規模事業 者、個人事業者 ・市内に、飲食店、喫茶店等を構え、日常より店舗内 で飲食の提供を行う施設を令和2年11月30日以前から 営業している方。 ・食品衛生法による飲食店営業、又は喫茶店営業の 営業許可を受けている方。 ・令和2年12月、令和3年1月のいずれかの月の売上高 が前年同月の比して、30%以上減少している方 ・支給申請日において、事業を営み、事業継続の意 思がある方 ・「安心なまちやつしろプロジェクト」感染防止対策 ステッカー等を掲示して営業をしている方 ・大企業でないこと。 ・暴力団その他の反社会的勢力との関わりがないこと。	R3.1	R3.3	180,000		180,000					飲食店等緊急特別支援金 546件:163,800,000円	163,800,000	163,800,000			年末年始に新型コロナウイルスの影響で売 上が減少した飲食店に対し、事業継続への支 援を素早く実施できた。
69	単	八代市飲食店等緊急特別支援事業(関連事業者)	①新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が大 きく減少するなど未曾有の影響を受けている、飲食店等 に関連する事業主に対し、事業の継続・安定を図るため 支援するもの。 ②支援金:法人・個人事業主一律300千円 ③300千円×320事業所=96,000千円 ④以下の項目すべてを満たす中小企業、小規模事業 者、個人事業者 ・市内で、令和2年12月31日以前から事業を営んで いる方。 ・令和2年12月から令和3年2月までのいずれか一月 の売上高が前年同月の比して、30%以上減少して いる方 ・支給申請日において、事業を営み、事業継続の意 思がある方 ・「安心なまちやつしろプロジェクト」感染防止対策 ステッカー等を掲示して営業をしている方	R3.2	R3.3	96,000		96,000					飲食店等緊急特別支援金(関連 事業者) 105件:31,500,000円	31,500,000	31,500,000			年末年始にコロナの影響で売上が減少した飲 食店の関連事業者に対し、事業継続への支 援を素早く実施出来た。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証シート

実施計画NO	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A					事業実績	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	効果 (成果)	
						総事業費 (千円)	B								
							補助対象事業費 (千円)	C 国庫補助額 (千円)	D 交付対象経費 (千円)	E 起債予定額 (千円)					F その他 (千円)
70	補	子ども・子育て支援交付金	①放課後児童クラブにおいて、感染症対策の徹底を図り事業を継続的に実施していくために、必要な経費を補助する。 ②マスク、消毒液、空気清浄機等の購入補助 ③定員19人以下:300千円×8クラブ=2,400千円 定員20人以上59人以下:400千円×26クラブ=10,400千円 定員60人以上:500千円×2クラブ=1,000千円 ※その他特定財源(県支出金):4,600千円 ④放課後児童クラブ(36クラブ)	R3.2	R3.4以降	13,800	13,800	4,600	4,600	-	4,600	34か所:10,964,000円	10,964,000	3,656,000	市内児童クラブ35か所へ消耗品(マスク、消毒液等)等購入費用を補助することで、新型コロナウイルス感染拡大防止につながった。
71	補	子ども・子育て支援交付金	①こどもプラザにおいて、感染症対策の徹底を図り事業を継続的に実施していくために、必要な経費を補助する。 ②マスク、消毒液等の購入補助 ③一律300千円×2事業所=600千円 ※その他特定財源(県支出金):200千円 ④こどもプラザ(2事業所)	R3.2	R3.4以降	600	600	200	200	-	200	マスク他:511,342円	511,342	171,342	市内こどもプラザ2か所へ、消耗品(マスク、消毒液等)等購入費用を補助することで、新型コロナウイルス感染拡大防止につながった。
72	補	子ども・子育て支援交付金	①保育所及び子育て支援センターにおいて、感染症対策の徹底を図り事業を継続的に実施していくために、必要な経費を補助する。 ②マスク、消毒液、空気清浄機等の購入補助 ③定員19人以下:300千円×11施設=3,300千円 定員20人以上59人以下:400千円×18施設=7,200千円 定員60人以上:500千円×39施設=19,500千円 ※その他特定財源(県支出金):14,700千円 ④保育所等(68施設)	R3.2	R3.4以降	30,000	30,000	600	14,700	-	14,700	アルコール消毒液ほか2,625,184円 空気清浄機ほか1,768,844円 新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金24,029,000円	28,423,028	7,239,844	私立保育園52園、私立子育て支援センター5か所へ、消耗品(マスク、消毒液等)等購入費用を補助することで、新型コロナウイルス感染拡大防止につながった。
73	単	生活交通路線維持継続事業(タクシー補助第二弾)	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、タクシー利用が低迷し、事業収入が落ち込んでいる事業者に対し、タクシーチケット割引補助を実施することにより、タクシーの利用促進と事業の継続を目的とする。 ②割引チケット及び販売に係る経費の一部に対する補助金。 (5千円のチケットを3千円で販売) ③・チケット補助 (5千円-3千円)×5,000セット=10,000千円 ・販売事務経費・チケット印刷代5,000セット×82円×1.1=451,000円、チラシ印刷代10,000枚×11.6円×1.1=127,600円、振込手数料7,040円×6か月=42,240円、人件費108,396円×8か月=867,168円、合計1,488,008円) ④タクシー運行事業者(タクシー協会八代支部)	R3.3	R3.4以降	11,489			11,489	-	-	・タクシーチケット割引補助金 10,929,852円 ・チケット割引補助 10,000千円 (2千円×5,000セット) ・事務経費 929,852円 (印刷費549,500円、振込手数料39,380円、人件費340,972円)	10,929,852	5,465,852	タクシーチケット割引補助を実施することにより、タクシーの利用促進と事業の継続を支援することが出来た。
74	単	生活交通路線維持継続事業(スーパーばんべいゆ乗車券補助)	①スーパーばんべいゆは、本市と阿蘇くまもと空港をつなぐ唯一の直結型路線バスである。市民のみならず、市外からの訪問者にとっても観光、ビジネス出張などに非常に有効な移動手段となっており、本市の観光業、各種産業の発展に寄与している。しかし現在、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が激減しており、本市産業の事業継続及び経済活動を維持する必要があることから、公共交通機関として感染防止に努めた上で、本市と空港間の良好なアクセス環境を維持するため支援を行うもの。 ②乗車券購入費の一部を補助する。 ③乗車券1枚に対し500円補助 @500円×10,000枚=5,000,000円 ④乗車券購入者	R3.3	R3.4以降	5,000			5,000	-	-	スーパーばんべいゆ運賃割引補助金 5,000,000円 【内訳】 チケット割引補助 5,000千円 (500円×10,000回分)	5,000,000	2,500,000	公共交通機関として、新型コロナウイルス感染防止に努めた上で、乗車券に対する補助を行うことにより、本市と空港間の良好なアクセス環境を維持するため支援することが出来た。

